

(令和6年度) 指定管理業務に関する第三者評価結果

令和8年3月26日

施設名称	交野市立総合体育施設 (いきいきランド交野)
指定管理者名	NEXTいきいきランド創造パートナーズ (代表企業美津濃株式会社)
施設所管課	地域振興部スポーツ青少年課
評価者	交野市指定管理者評価委員会

1. 指定管理者の自己評価に対する意見等

自己評価では「概ね適正」「良好」とする項目が多く見受けられるが、現地視察や指摘事項の内容を踏まえると、実態との乖離があるとの意見が多数あった。特に、防火設備前への物品放置、トイレやプールサイド等の清掃不備、備品破損の放置、プール水質管理の不適切事案など、安全・衛生管理に関わる重要事項については、改善を要する状況が確認されているにもかかわらず、自己評価が相対的に高い水準となっている点が指摘された。

達成基準の評価においても、「概ね適正」とどまり、更なる改善を目指す姿勢が十分に見受けられない。苦情対応や利用促進策についても積極性に欠ける面が見受けられ、管理水準の向上に向けた主体的な取組が求められる。

加えて、利用者数の目標達成状況や収支の状況についても、結果を踏まえたより厳格かつ客観的な自己評価を行うべきであり、経営面においても改善に向けた明確な課題認識を持つことが求められる。

2. 市(施設所管課)の評価に対する意見等

市の評価は指定管理者より厳しいものとなっており、一定の妥当性は認められるが、双方の評価に大きなギャップが生じている点は重大な課題である。市と指定管理者との連携・意思疎通体制についても課題が指摘されており、両者の認識共有や指導のあり方について再整理が必要である。

特にプール水質管理において、塩素注入器の故障放置や不適切な薬剤投入が判明したことは、利用者の安全確保の観点から極めて重大であり、厳格な評価が妥当であるとの意見があった。

また、財務状況評価の手順や基準が不明確である点、「何度指摘しても改善されない」とのコメントが散見される点などから、市としてのモニタリング手法や改善指導の具体性を高める必要がある。評価はより客観的な事例や数値に基づき、厳格に行うべきである。

3. 改善に向けての指摘・提言等

最も重要なのは、指定管理者と市との評価ギャップを解消するための定期的かつ具体的な協議の場を設け、課題を共有し、改善策を行動レベルで実行することである。市に寄せられた苦情や指摘事項についても、事業者と適切に共有する仕組みを構築すべきであ

る。

安全・衛生管理については、日常点検の強化、報告・相談ルールの明確化、改善目標の期限設定及び達成状況の検証を徹底することが求められる。特に水質管理を含む安全確保体制については、再発防止策を明文化し、確実に履行する必要がある。

また、利用促進に向けては、個別施設ごとの改善にとどまらず、施設全体の魅力向上を図る取組を検討することが望まれる。あわせて、指定管理者の財務状況についても毎年度の財務諸表確認を通じ、事業継続性の観点から適切に把握・評価することが必要である。

今後は、指定管理者及び施設所管課双方が利用者の安全・安心を最優先とし、管理水準の向上と信頼回復に向けて継続的な改善を図られたい。